

## 志教育全体計画

## 学校教育目標

常に正しきを求めて 向上的態度を持とう

&lt;古川学人 吉野作造博士「古川餘影」より&gt;

## スローガン

「夢」「誇り」「前進」 ～25年後(40歳)の自分を思い描いて…～

## 志教育経営ビジョン

## 志教育を中核とした教育課程の編成と展開

職業人・社会人としての「40歳の自分」を見据えた、東日本大震災からの復興・そして未来を担う「志の高い古川の子ども」を育成する志教育の推進

## 中期経営目標とスケジュール

職業人・社会人としての「40歳の自分」を見据え、総合単元カリキュラムによる問題解決のためのスキルを身に付けさせ、キャリア教育の視点に立った望ましい勤労観・職業観を醸成し、学ぶ意義の理解や自己実現への意欲を高め、自分の力を発揮して社会の形成に参画するための力を育む「志教育」を中核とした教育課程を編成し実践する。

## 古川中学校における志教育の目標

## ～ 自他をしっかりと見詰めながら、将来のビジョンを思い描き、仲間と共に学び続ける生徒の育成 ～

- 1 将来の自分のあるべき姿を思い描きながら、他者や社会とより良く関わろうとする心情や意欲を醸成する。
- 2 社会生活において必要となる対人関係のスキル、及び、他と共同し主体的・自立的に課題解決に当たるためのスキルを身に付けさせる。
- 3 学びの意味を実感させる授業と体験活動との往還を通して、自律的に学び活動することの大切さを理解させる。
- 4 多様な生き方や価値観に学び、自らの生き方・在り方を主体的に探求しようとする態度を育てる。

【心情や意欲】  
【スキル】  
【理解】  
【態度】

## 古川中学校が、卒業時の生徒に求める具体の行動レベル

## 人と『かかわる』

- 多様な価値観や人生観から、今後の自分の生き方に役立つ価値を見いだしながら、他者と関わることができる。
- 自分の思いや考えを適切に伝える力、他者の思いや考えを共感的に受け入れる態度を身に付けている。

## よりよい生き方を『もとめる』

- 自己実現(自己理解に基づく夢や志)と、社会貢献(自分が他者や社会にどのように役立つのか)の2つの視点から適切な進路を選択できる。
- 望ましい職業観・勤労観のもとで、将来就きたい仕事や職業を暫定的に思い描くことができる。

## 社会での役割を『はたす』

- 係活動や委員会活動など、自分の役割の意義を自覚し、責任を持って取り組むことができる。
- 生まれ育った地域を大切に思う心、地域の方々への感謝の気持ちを持ちながら、地域の活性化やまちづくりに係る活動等に参加することができる。

## 「志教育3つの視点」と本校の授業づくりにおける4つの観点

## 人と『かかわる』

心情や意欲 / スキル / 理解 / 態度

## よりよい生き方を『もとめる』

心情や意欲 / スキル / 理解 / 態度

## 社会での役割を『はたす』

心情や意欲 / スキル / 理解 / 態度

(注) 態度＝学習をととして内面化したもの(心情や意欲・スキル・理解)が、生徒の姿や行動として表れること

## 古川中学校の「総合単元カリキュラム」としての取組

## 各学年の総合単元カリキュラムのねらいと主たる実践内容

	総合単元カリキュラムのねらい	主たる実践内容
第一学年	集団の一員としての自覚と責任を持ち、他者とより良く関わりながら将来を見詰め、学校生活を向上させる。	・ファシリテーション研修 ・キャリアセッション ・職業調べ
第二学年	社会の一員として果たすべき役割を認識し、自己実現・社会貢献の視点から将来のビジョンを思い描かせる。	・職場体験学習事前学習 ・職場体験学習 ・上級学校調べ ・まちづくり学習準備
第三学年	将来の社会を担う人間としての自覚を持ち、自分らしい生き方・望ましい社会の在り方について探求させる。	・修学旅行 ・オープンスクールへの参加 ・高校説明会 ・教育相談 ・まちづくり学習

## 本校の教育活動全体を包含する志教育の構想

## ライフスキル学習 ―全校体制で計画的・段階的に実施―

- 基礎的・汎用的能力の育成 ⇨ 自己理解、対人関係の能力、課題解決、将来設計
- 班長会議、各学級での活用 ⇨ リーダー育成、自治的活動の促進、生徒会活動の活性化
- ファシリテーションの積極活用 ⇨ キャリアセッション、職場体験活動からまちづくり学習などへの展開

## 各教科

- 確かな学力
- 「分かる授業」の展開
- 「学びの意義」の実感
- 家庭学習習慣

## 道徳

- 思いやりの心
- 自他の尊重
- 責任の自覚
- 地域や社会に貢献しようとする意欲や態度

## 総合的な学習

- 多様な他者と関わる機会
- 体験活動の充実
- 計画・実践・まとめ・発表の流れ

## 特別活動

- より良い人間関係の構築
- 自治的活動を促進する支援
- 所属意識の高揚と協力性

## 「FYTS」の教育支援にもとづく教育活動

- 社会性や勤労観の醸成 ⇨ キャリアセッション、職場体験、まちづくり学習
- 地域人材(職業人)との関わり ⇨ 多様な価値観・生き方との出会い、社会性
- 地域社会で活動する機会 ⇨ 地域を知る、地域について考える、地域を支える

